

法 学 号 外
平成 30 年 3 月 5 日

各 私 立 学 校 長 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 30 年度青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティア春募集現職教
員特別参加制度参加希望教員募集の周知にかかると一部資料の差替えにつ
いて

このことについて、平成 30 年 2 月 26 日付け法学号外にて通知していたところですが、
文部科学省から別添のとおり資料の一部について訂正がありましたので、お知らせしま
す。

【担当】私学振興担当 半田

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

事務連絡
平成30年2月28日
文部科学省大臣官房国際課

各都道府県私立学校主管課長
小中高等学校を設置する学校設置会社を
所管する構造改革特別区域法第12条
第1項の認定を受けた各地方公共団体の担当課長
殿

平成30年度青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティア春募集
現職教員特別参加制度参加希望教員募集の周知にかかる一部資料の差し替え

平成30年2月19日付け29受文科際第89号をもって御依頼いたしました標記の件につき、添付資料の一部に表記の誤りがございましたところ、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記ならびに添付のとおり訂正してご連絡いたします。

記

- ・「国立大学法人・公立大学法人・私立学校・学校設置会社の設置する学校用別紙」事務連絡中、応募条件である年齢につき、以下のように訂正いたします。

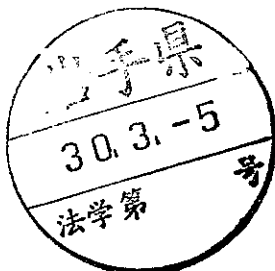
訂正前： 平成30年5月10日（水）

⇒ 訂正後： 平成30年5月1日（火）

- ・「国立大学法人・公立大学法人・私立学校・学校設置会社の設置する学校用別紙」事務連絡中、JICA ホームページに掲載されます応募書類について以下のとおり訂正いたします。

訂正前： ※オ～キの応募書類については、3月上旬に JICA ホームページに掲載されますので、参加希望教員が各自でダウンロードして作成するようご案内ください。

⇒ 訂正後： ※オ～クの応募書類については、3月上旬に JICA ホームページに掲載されますので、参加希望教員が各自でダウンロードして作成するようご案内ください。



担当：大臣官房国際課海外協力推進係 岡本、木下
TEL 03-6734-2604（直通）
FAX 03-6734-3669

青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア参加希望教員の募集について

1. 応募書類

- (ア) 現職教員特別参加制度に関するアンケート（所属機関で記入）
- (イ) 平成30年度募集に係る派遣教員数の人数枠等について（所属機関で記入）
- (ウ) 青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア参加希望教員一覧表（所属機関で記入）
- (エ) 青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア参加希望教員推薦書（校長が記入）
- (オ) 応募者調書（参加希望教員が記入）
- (カ) 応募用紙（参加希望教員が記入）
- (キ) 語学力申告（参加希望教員が記入）
- (ク) 問診票（参加希望教員が記入）

※ア～エの応募書類については、文部科学省ホームページに掲載します。

※オ～クの応募書類については、3月上旬に JICA ホームページに掲載されますので、参加希望教員が各自でダウンロードして作成するようご案内ください。現職教員特別参加制度に限らず、JICA 青年海外協力隊 / 日系社会青年ボランティアに共通の様式となりますので、「応募者調書」の記入方法等については、同ホームページに掲載の「2018 年度春募集 応募書類作成要領」を参照願います。

2. 提出期限・提出先

各応募書類を下記提出期限までにとりまとめの上、文部科学省大臣官房国際課海外協力推進係へ各国立大学法人、公立大学法人、私立学校および学校設置会社の設置する学校から直接提出ください。

応募書類	提出方法	提出期限	備考
アの書類（ワード）	<u>メール</u> ※	平成30年3月16日（金）	提出は任意です。
イ、ウの書類（エクセル）	<u>メール</u> ※	平成30年4月19日（木）	オ～クの応募書類は、3月上旬に JICA ホームページに掲載
エ～クの書類（原本郵送）	郵送		

※業務の効率化を図るため電子データでの提出とします。

【応募書類提出先】

書類提出先：〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

文部科学省大臣官房国際課海外協力推進係

電子データ提出先：kokusai@mext.go.jp

※送信メールの件名は、「【現職教員特別参加制度】機関名」を付けてください。

3. 応募に係る留意事項（※参加希望教員への周知徹底をお願いします。）

- 応募条件である年齢については、平成30年5月1日（火）時点で39歳以下の者が対象と

なります。

- 派遣先の各地域や職種等に関する「要請情報」は、3月上旬にJICA ホームページに掲載される予定ですので、参加を希望される教員本人で確認するようにしてください。（青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア「現職教員特別参加制度」の募集については、JICA が作成する開発途上国及び日系社会からの要請情報の一覧に基づき募集を行っております。）
- キの「語学申告台紙」については、裏面の「語学力目安表」を参照のうえ、申告に必要な語学スコアを事前に取得した上で提出ください。なお、JICA の規定する基準を満たしていない場合には、不合格となりますので御留意ください。
- クの「問診票」について、未申告または虚偽の申告があった場合は、派遣中止や派遣期間の短縮となります。この場合、手当や旅費等の返還を求められることがあるほか、療養費給付が受けられないこともありますので、問診票は誤りがないように申告するようお願いいたします。
- 一次選考合格者に対して提出が求められる「健康診断書」については、作成に2～3週間を要することもあるため、参加を希望する場合は、必ず時間に余裕をもって健康診断を受診するようお願いいたします。なお、派遣先が開発途上国であることから、健康管理には十分注意していただく必要があります。健康に関する留意事項等の情報については、事前に募集要項等を確認いただくようお願いいたします。
- 平成30年度春募集では一般応募はウェブ応募のみとなりますが、現職教員特別参加制度での応募については従来どおり、応募書類の提出をお願いいたします。
- 応募者ご本人からの問合せについては、文部科学省では受けかねますので、事業実施主体のJICA宛てをお願いいたします。

4. 平成30年度春募集から派遣までの主なスケジュール（予定）

【平成30年】

2月中旬	文部科学省から都道府県・政令指定都市教育委員会、附属学校を置く国立大学法人、公立大学法人、知事部局及び小中高等学校を設置する学校設置会社を所管する構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体等関係機関への募集周知依頼
3月上旬	JICA ボランティアウェブサイトが開発途上国及び日系社会からの要請情報および応募に必要な書類を掲載 (参加希望教員が応募職種等について検討する十分な時間が確保できるよう、各所属機関においては応募書類提出期限の設定等に配慮をお願いします。)
4月19日	参加希望教員に係る応募書類の文部科学省提出期限
5月1日	文部科学省からJICA への推薦
5月中旬	JICA から各所属機関へ応募教員の受験番号を連絡
6月上旬	JICA ボランティアウェブサイトでの一次合否発表（各所属機関は、応募教員の受験番号によって確認可能） JICA から本人及び文部科学省へ一次選考の結果を通知
7月上旬～	JICA における二次選考（人物・技術面接、健康診断）

国立大学法人・公立大学法人・私立学校・学校設置会社の設置する学校用別紙

7月中旬	
8月中旬	JICA ボランティアウェブサイトでの最終合否発表（各所属機関は、応募教員の受験番号によって確認可能） JICA から本人及び文部科学省へ最終合否の結果を通知

【平成31年】

2月下旬～ 4月上旬	3～10日程度の技術補完研修 （合格通知時に該当となった方のみ。実施時期は職種によって異なるため要確認）
4月上旬～	派遣前訓練開始（約70日間）
6月下旬	派遣